

各位

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル
代表者 代表取締役社長 川崎 亨
(コード番号 9713)
問合せ先責任者 財務企画部長 坊傳 康真
(TEL 06-6448-1121)

特別利益及び特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当連結会計年度において、下記の通り特別利益及び特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。また、これに伴い平成26年11月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,000	1,200	800	630	6.15
今回修正予想(B)	44,500	1,100	800	2,700	26.35
増減額(B-A)	△500	△100	—	2,070	
増減率(%)	△1.1	△8.3	—	328.6	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	45,378	1,153	761	561	5.48

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,700	600	400	220	2.15
今回修正予想(B)	31,400	550	400	2,300	22.45
増減額(B-A)	△300	△50	—	2,080	
増減率(%)	△0.9	△8.3	—	945.5	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	31,941	987	630	362	3.54

修正の理由

(1) 特別利益の計上

本日公表いたしました「リーガロイヤルホテル京都に関する事業譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、連結決算、個別決算とも、本件、譲渡に伴う事業譲渡益約3,300百万円を特別利益として計上する見込みでございます。

(2) 特別損失の計上

平成27年1月29日に公表いたしました「当社の子会社における賃料減額確認請求訴訟に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の子会社である株式会社アール・ビー・ビルディングは、当該判決を不服として控訴しております。

しかしながら、第一審判決通りに確定した場合に備え、当連結会計年度において、連結決算では、訴訟損失引当金繰入額約2,045百万円を特別損失として計上する見込みでございます。

また当事業年度において、個別決算でも、当社の子会社の訴訟損失引当金繰入額計上に伴い、当社は、同社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額約1,925百万円を特別損失として計上する見込みでございます。

(3) 修正の理由

平成27年3月期の業績予想につきまして、上記記載の通り、特別損失の計上を上回る特別利益の計上等により、当期純利益は前回予想を上回る見込みでございます。

※上記の業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上